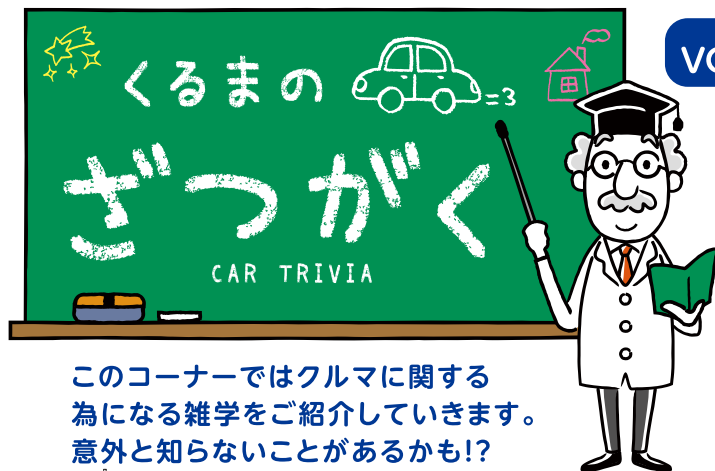


VOL.20 新古車? 未登録新車? 未使用車? 何がちがうの?



このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも!?

一般社団法人自動車公正取引協議会によりますと、販売されている自動車には、新車と中古車の2種しかないことになっています。しかし、本誌の誌面上や、日常的に耳にする言葉の中に「新古車」「未登録新車」「登録済未使用車」「届出済未使用車」など、通常の中古車とは違った表記があったり、耳にすることがあります。『全て新古車のことじゃないの?』と思われる方もいらっしゃると思いますが、細かく分類すると異なります。今回のくるまのざつがくでは、本誌でも使用されているこれらの用語の違いや意味について具体的に解説してきたいと思います。

1 登録済未使用車・届出済未使用車について

現在、自動車を販売する際に「新古車」という表記は使用することはできません。新車なのか中古車なのか明確にわからず紛らわしい表現、というのがその理由です。そこで「新古車」は「未使用車」と表記されるようになりましたが、今では「未使用車」のみでの表記も普通車と軽自動車の判別が明確ではないことから禁止されており、現在は、購入時に運輸支局(陸運局)に登録が必要な【普通車の未使用車のことを登録済未使用車】、購入時に軽自動車検査協会に届出が必要な【軽自動車の未使用車のことを届出済未使用車】と表記しています。登録済・届出済未使用車はすでにナンバー登録がされたクルマであるため、区分的には中古車ということになります。クルマというのは登録をしてナンバーを取得した時点で、中古車となってしまいますからです。そのクルマを使っていようがいまいが、登録をしてしまった時点で新車ではなくなります。



↑未登録新車の場合、どうしても大勢の方が車に触れているケースが多い。ナビなどもすでに装着されている車も多いのは魅力的。

2 未登録新車ってなあに? 新車とは違うの??

「新車」は、注文を受けてから工場のラインに乗るといのが一般的な流れです。ボディカラーや内装の色を指定したり、メーカーオプションなどを好みに応じてオーダーした状態で、工場のラインを流れます。「未登録新車」は文字のとおり、未登録である新車です。なので区分的には新車として扱われます。どのようなクルマなのかと言いますと、工場から上がってきた状態のまま、ナンバー登録をせずにディーラーなどの販売店で保管されていたクルマになります。わかりやすく説明すると、展示車としてショールームに置かれていた多くの人に触れられていた「展示車両」が多いです。なので、新車とはいっても工場から上がってきたばかりのクルマと同じように考えてはいけません。ナンバーの付いていないクルマなので試乗車のように公道を走るといったことはありませんが、店に展示されていたクルマなので「まさらな新車」ではありません。

新車に比べると安く購入でき、納車も早いので、大勢の人が触った可能性のあるクルマでも気にしないという人であれば、未登録新車の購入はメリットがあります。また、未使用車との違いは、ナンバー登録を済ませたか済ませていないかの違いだけになります。

3 未使用車は中古車なのに新車よりも高くなることもあるってホント?

上記で述べたように、未使用車というのはすでに登録を済ませてしまったクルマなので、区分的には中古車になります。しかし、その中古車であるはずの未使用車が、新車よりも高い値段で売られている場合もあります。特に人気車種で、納車まで時間がかかるようなクルマにそういった傾向があります。人気車種の場合、発注をしてから納車まで3ヶ月・半年・長ければ1年以上もかかってしまうことがあります。ところが、すぐにでもそのクルマが欲しい人にとっては、3ヶ月以上も待つなんてとてもできないわけです。そういった人にしてみれば、今すぐ手に入るのであれば、中古である未使用車が新車よりも高い値段であってもさほど気にならないわけです。例えば、人気の新しいゲーム機などが販売されると、品薄になってしまってなかなか手に入りにくい状態になることがあります。そういった際に、定価よりもはるかに高額でWEBサイト等で売られていたりすることがあります。未使用車の値段が新車よりも高くなる理由も、これと全く同じであると考えていいでしょう。モノの値段というのは需要と供給の関係で決まるため、高くても欲しいという人が存在すれば必然的に値段は上がることになるわけです。



! 未使用車は車屋さんの名義などでナンバー登録されているので、最初のオーナーは車屋さんになり、購入した時点で自分が2人目のオーナーということになります。新車とは違い「ワンオーナー車」ではなくなってしまう点は把握しておきましょう!